

議 事 録

1	会議名	富士見市基本構想審議会第3回会議
2	開催日時	平成22年1月26日（火）13時30分から16時
3	出席者名	委員：新井義明委員、市川正三委員、市川浩委員、伊藤悦子委員、大久保義海委員、小山健次郎委員、渋谷義衛委員、清水實委員、田中洋子委員、根岸由紀子委員、柳田政男委員 市側：奥村副市長、斉藤政策財務課長、政策財務課（事務局）
4	傍聴者	1名
5	次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項：第4次基本構想の取組実績と今後の課題 （1）第1章 自然と共生するまち （2）第2章 安全で快適に暮らせるまち 4. 閉会
6	決定事項等	・ 6つの基本目標のうち、「②安全で快適に暮らせるまち」の大柱「下水道の整備」までの課題整理を行った。
7 議事内容		
	渋谷会長	1. 開会 2. あいさつ 会長あいさつ ・ 第1、2回では現状把握を行い、基本的な部分に関する共通認識を図った。 ・ 今回から、現行の取組状況と今後の課題についてご審議いただきたい。
	事務局	3. 協議事項 【第4次基本構想の取組実績と今後の課題】 事務局説明 ・ 配布資料「第4次基本構想後期基本計画 今後の課題について（案）」は、市民会議で検討したものであり、市民意識調査や行政水準等を整理し、導き出された後期基本計画レベルの課題をまとめたものである。 ・ 資料1は、より上位の基本構想レベルにまとめた課題であり、本日はこちらを使用する。 ・ 4ページ「①自然と共生するまち」の主な指標を見ると、公園面積や箇所数等、公園整備がかなり進んだことが分かる。 ・ 市民緑地とは、市民の方から土地をお借りして、市が保全しているものである。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理量について、人口は増えているが、処理量は減っている。
委員	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4ページの「富士見市をきれいにする条例」に関連して、私は、5年ほど前から市内3つの駅を月1回掃除している。こういう活動には、市の職員が参加すべきであるが参加していない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中には、個人的に参加している職員もいる。また、年に数回清掃運動を行っている。この取組みは、組織として引き続き行っていく予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現職の公務員は忙しいので、ボランティアを強制するのはいかがかと思う。以前住んでいた地域で庭掃除をしていたら、いっぱいになったごみや草を市が回収してくれた。住民は自分たちで掃除すべきであり、市がやることは他にあると思う。ボランティアは、強制するものではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ このような条例をつくる場合は、旗振り役、特に議員は絶対に模範を示すべきである。朝7時から15分くらいはできるだろう。 ・ そもそもみな、この条例を知っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美化の推進区域を定めるものであり、条例上罰則は定めていない。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境美化は、なかなか1人ではできないので、できるだけ多くの市民が参加するよう、市ではその方法を考えてもらいたい。 ・ 駅の近辺はまちの玄関口のようなものである。市民が参加・協力しやすい条例にしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民緑地が年々減っているということは、市における緑の確保が減ってきているのだと思う。基金との差はどうするのか。これからの課題になるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4ページ「緑地保全基金残高」の数値に誤りがあるため、訂正する(68,172千円から245,092千円に訂正)。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック分別は、洗う水が無駄で手間がかかったり、燃やすと発熱効率が良かったりすることから、廃止している自治体が多い。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、洗うことは求められていなく、外側のラベルをはがすだけでよい。水の無駄はないのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水がもったいないと思ったら洗わないようにしている。 ・ さきほどのボランティアについて、公務員など関係なく、多くの人に参加していくことが重要だと思う、 ・ 公園について、防犯上、カメラを設置しているのか。公園を整備する際は、防犯についても考慮してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園には設置していない。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯については、別の項目でご検討いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進め方について、どこまで細かく議論していくのか。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階では、第4次構想の実績を把握して、現行構想として残っている課題を洗い出すことを目指している。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 個別具体的な事業の話というよりは、ある程度大きな視点でとらえていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用について、工業系が第40位である。工業、商業ががんばってくると税金が多く入ってくるが、住宅系はハコモノづくりでお金がかかる。 企業誘致について、研究系企業を誘致する場合、子どもの進学先が重要となる。その点で、富士見市は都内に近いし、歴史・文化があるし、条件がよい。観光についてもルートを作って取り組めばよい。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> まずは、「自然と共生するまち」についてご議論いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な土地利用について、環境だけでは税収が入らない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物が減っている要因は何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 該当値は、事業系と家庭系の数値を合算した値である。家庭系の個人ごみは啓発により一定程度抑えられているのではないか。ただし、手元のデータだけでは分析できない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光等の新エネルギーを利用した施策が少ないように思う。 また、基金を活かした里山保全なども大事である。市民緑地はなぜ減ったのか。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 相続の際に、持ち主に返したケースが多い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 富士見市辺りだと土地の値段が高いので、借りるのもよい。また、緑がある土地の税金を少なくする等、さまざまな方法を積極的に取り入れるべきである。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 個別の具体的な事業については別途検討する。事務局が出した課題を見て、何か意見はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 5ページ大柱「計画的な土地利用」に「定住化や活力あるまちづくり」とあるが、前回の人口推計では人口減少が予測され、このままでは放棄地は減らないだろう。具体的な取組みを示さないと納得できない。
奥村副市長	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な内容は別の章でご検討いただきたい。本項は環境問題がメインである。時代の変化により、環境保全はある程度進んだが、土地利用は課題である。ごみ量は経済と深いかわりをもつので、今後どうなるか分からない。
事務局	<p>事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 続いて大柱「水と緑の保全と活用」から、先ほどの通り、公園については整備が進んでいる。これらを踏まえ、今後は景観や地球温暖化対策、緑地の保全策の進め方が課題である。 「生活環境の保全」については、協働による取組みの推進や温暖化対策等が主な課題である。

	<p>質疑応答</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 生態系に配慮した河川整備とは、具体的に何をやっているのか。 びん沼や柳瀬川の調整池等を視野に入れたものである。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化という言葉が入っているが、国でもとりあげているので、課題として掲げる必要があるかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 世論では、温暖化ではないという意見もある。簡単に温暖化とっていいのか。もう少し調べ直してみる必要がある。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化の問題は国でも議論している。一市町村でこの問題を研究するのは無理がある。国などの結論に委ねないといけないのではないかと。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> 富士見市の中で具体的に温暖化の影響が出ているなら掲げてもよい。 温暖化にとらわれず、資源とエネルギーの推進をメインに掲げればよいのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 騒音や悪臭は確かに問題である。あわせてごみのポイ捨てが非常に問題であり、何らかの取組みを行ってほしい。
委員 渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 湧水の話が他の箇所ですでにないか確認してほしい。 他の分野で出てきている。
	<p>事務局説明</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「②安全で快適に暮らせるまち」について、交通事故発生件数が大きく減少している。また、循環バス利用者数が約3倍に伸びている。駐車場・駐輪場整備も進めてきた。 大柱「市街地の整備」の課題は、鶴瀬駅東西口の引き続きの推進、既成市街地における災害時の安全確保策である。 「道路・交通環境の整備」の課題は、バリアフリーに配慮した計画的な整備や維持補修等の維持管理の必要性が増してくる時期にきている。 「上水道」の1人あたりの配水量は減少しており、節水意識などが考えられる。水道管の耐震化率は同規模自治体より下回っている。 「下水道」の課題は、水子地区の公共下水道整備、合併浄化処理等を含めた処理方法の検討等である。
	<p>質疑応答</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 学校の新校舎が移転して1年以上になるが、学校前の交差点に横断歩道が敷かれていない。市の担当課に依頼して、県まで話が繋がっているとのことだが、いつまでに話をもっていかなど、基準はあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道を敷くには制約や条件がたくさんある。人が多くいるところを通学路にするべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の歩道整備率はどのような状況か。歩道がなくて通学路というケースはあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地の中など、ほとんどが歩道のない通学路である。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 5月の歩け歩け大会に参加すると、非常にきもちよい道路がある。観光などにもいかせるのではないか。そうすると自転車道路を整備したほうがよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大会だと日にちが限られるので、標識を立てていつでも歩ける環境整備が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 湧き水があるだけあって、坂道も多い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 貝塚公園などすばらしい公園がある。犬のふんは規制したほうがよい。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理は市で対応するというのでよろしいかと思うが、水谷の暫定逆線引き地区2箇所について、その状況をお話いただきたい。
奥村副市長	<ul style="list-style-type: none"> 水子の暫定逆線引き地区は、水谷小学校前の右側95ヘクタール、諏訪が5ヘクタール、併せて100ヘクタールの市街化調整区域があり、計画的なまちづくりを進める上で地区計画を導入し、市街化区域編入に向けた取組みを行っている。農林等との調整は終了し、現在住民と調整中である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に地区計画となると地権者の反対が多いと聞くがどうか。
奥村副市長	<ul style="list-style-type: none"> そのような声はない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 南畑はどうなっているのか。
奥村副市長	<ul style="list-style-type: none"> 昨年、まちづくり協議会を立ち上げた。びん沼や農地の利用について議論している。農業経営の厳しい状況や雇用情勢の悪化、小学校閉鎖の危機感、まつりなどの伝統の後継者不足等を受け、不安感、危機感が高まっている。そのため、様々なまちづくりの手法や地域の活性化などについて議論している。 また、びん沼には人が集まるが、南畑に恩恵はあまりなく、残るはごみのみということが言われている。観光資源をどう作るかが、大きな課題となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 南畑は梨が非常においしい。オーナー制度を考えていけば人が増えるのではないか。
奥村副市長	<ul style="list-style-type: none"> 梨組合があり、実際、うまくいっている分野である。これから成長する可能性がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 鶴瀬東口の区画整理を進め、駅前が早く開けることが富士見市全体の一番の鍵だと思う。企業誘致をやるにしても、駅からのアクセスが重要である。一刻も早い対応をしてほしい。予定は何年か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 24年に暫定的に道路を通す予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 東口の空地を一時的でもよいから駐輪場にするべきである。
渋谷会長	<ul style="list-style-type: none"> 上水道の管路の耐震化率について、4%以上あるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大口径の上水道を先行しているため、このような数値となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 下水道について、整備率は長年状況が変わっていない。具体的取組み等を

渋谷会長	入れて積極的に進めていくべきである。 ・ 本日、上下水道の課題整理まで行って終了とする。
8 会議資料	
資料1：第4次基本構想の取組実績と今後の課題（案） その他資料：第2回審議会会議録	